

到着前 - CALMSLEY HILL SHEEP FARM を訪れる背景

カムズリーヒルは、今日の遠足の環境負荷を減らすために、ワークシートの両面印刷を推奨しています。

農場のルール、何を持っていくべきか

- ガイドや教師の指示を注意深く聞き、所定の通路にとどまるようにしてください。
- 帽子、日焼け止め、動きやすいウォーキングシューズ、長い靴下および/または長ズボンを着用してください。
- フィールドでの1日の外出に十分な水を持参してください。
- ゲートを通り抜けた後、すべてのゲートが閉まっていることを確認してください。
- 家畜を怖がらせないでください。
- すべてのゴミを持ち帰りください。
- すべての学生は、フォルダー、鉛筆、消しゴムを持参することをお勧めします。

カムズリーヒルシティファームの背景-先住民と初期のヨーロッパの入植

カムズリー・ヒルには長い人類の歴史があり、アボリジニのオーストラリアの歴史は、何千年もの間この地域に住んでいたカンネマガルの人々について語られています。

この地域のヨーロッパの歴史は、ホースリーパーク回廊が定住した1795年頃に始まります。現在のカムズリーヒルサイトの大部分は当初、1799年、1805年、1809年に3つの別々の助成金で240ヘクタールを受け取ったジョン・ジャミソン卿に付与され、彼は「カムズリー・ヒル」と名付けました。



19世紀には、その土地は開拓され、開発されました。

20 世紀の変わり目頃に、シドニーの飲料水をプロスペクト貯水池に運ぶ運河が建設されました。その運河は今日でも機能しています。

その後、この施設は 1947 年に、若いイギリス人男性がオーストラリアに移住するのを助けるために 1920 年代に結成された組織であるビッグブラザー運動に売却されました。既存の建物、ダム、フェンスの多くは、ビッグブラザー運動によって建設されました。

現代のオペレーション - ワーキングファームとしてのカルムズリーヒルの誕生。

カルムズリーヒルは現在、ワーキングファームと動物園として運営されており、長期的には教育、保全、持続可能性に重点を置いています。そうすることで、Calmsley Hill のチームは、教育的な経験だけでなく、色々なアクティビティを通して楽しい一日を提供したいと考えています。

農場の主な関心事には、子羊とウールの生産、季節に応じて 250〜500 頭の羊と最大 100 頭の牛による牛肉生産が含まれます。カルムズリーヒルは、豚肉とヤギの肉の生産にも関心を持っています。

学生や子供たちはまた、農場で飼われている動物の赤ちゃんに手で餌をあげたりといった動物との触れ合いを楽しむことも出来ます。

STRUCTURED CALMSLEY HILL FARM SHOWS に含まれるもの:

教育学習体験だけでなく、3 つの象徴的なオーストラリアのファームショーが毎日運営されています。

- A) ファーマーウィップクラッキングデモンストレーション、
- B) シープドッグショー、
- C) 羊の毛刈りショー。

ゼネラルマネージャーのノア・モズリーと彼の農場スタッフのチームは、あなたが訪問し、農場と土地管理の重要性を学ぶことを歓迎します。カルムズリーヒル Sheep Farm でお会いしましょう。

